

令和5年度支部総会が開催されました

令和5年8月27日、松本市「ホテルモンターニュ松本」において、校友28名が出席し、令和5年度支部総会が開催されました。

総会は、来賓に校友会本部から岡本利隆常任理事、大学から副学長でバイオサイエンス学科の矢嶋俊介教授をお迎えし、支部長挨拶の後、校友会・大学の近況報告について御説明いただきました。



その後、浦野邦衛氏 (S56・農学)を議長に選出し審議に入り、令和4年度の事業報告、収支決算、令和5年度事業報告、及び収支予算の4つの議案が原案どおり承認されました。

役員改選では、会計監査役の小柳邦義氏の後任に深谷淳副支部長が、同副支部長の後任に前田善男氏が選任され、伊澤宏爾支部長ほか4名の役員が再任されました。また、校友会本部代議員の前田善男氏の後任に伊藤洋人氏が選任された。

総会終了後、校友の青木村村長 北村政夫さん (S41・造園) から「故郷 青木村の話題など」と題して、村の活性化に向けた東急グループとの連携 (同グループの創始者五島慶太翁は青木村出身)、企業誘致、人口対策、道の駅青木の取組などについて御講演をいただきました。

懇親会では、出席会員で最年長の滝川盛也さん (S38・農化) の乾杯の後、来賓を囲んで和やかな雰囲気の中、時を忘れて学生時代の昔話や近況について語り合い、塩川一則さん (H5・農工) の元気あふれるエールで学歌を斉唱し、来年の再開を期して閉会しました。